

# 提案概要

(「北九州市ほたる館」 指定管理者)

団体名：九州造園・グリーンワーク・しらすやまと共同事業体

## 1 指定管理者としての適性について

### (1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

#### ●理念

北九州市ほたる館は、ホテルの保護育成及び水辺環境の生き物に関する学習・研究の拠点施設としての役割があります。ホテルと水辺の生き物を通して、知りたい・学びたいと思わせる「生き物との共生を実感できる場所」を目指して、市内環境教育施設の拠点(ハブ)形成に取り組みます。

#### ●コンセプトテーマ

ホテルや水辺の生き物とのふれあいによる環境学習の拠点づくり

#### ●基本方針

##### <指定管理の方針>

##### 【指定管理の方針】

- (1) ホテルの生息環境が学べる拠点づくり
- (2) 水辺の生き物に出会える環境学習の拠点づくり
- (3) ホテルや水辺環境を通じた環境交流の拠点づくり

##### 【バックアップの方針】

- (1) ボランティアや地域と取り組む普及啓発活動の拡充
- (2) 収益性及び情報発信の向上による管理運営の増強

### (2) 安定的な人的基盤や財政基盤

#### ●株式会社九州造園

- ・昭和 32 年に創業し、国、県、市からの造園工事を多数受注し、市からの優秀工事 26 件となっています。
- ・役員は北九州緑化協会会長、造園建設業協会九州支部長、グリーンキーパー、庭園設計等の実務経験があり、技術職員 12 名は一級造園施工管理技士等の資格や実務経験豊富で人的基盤があります。
- ・資本金 30 百万円、年間売り上げ約 460 百万円、緑化管理用車輛等多数所有し、安定した財政基盤があります。

#### ●NPO法人グリーンワーク

- ・平成 16 年に設立。会員 20 名。協力会社 6 社。会員は、技術士、樹木医、公園管理運営士、ビオトープ管理士などの多数の資格を持ち、北九州市からの委託など年間約 40 百万円を受注し、豊かな人材連携と安定した財政基盤を有しています。
- ・日本ミツバチの養蜂をはじめ生き物調査や障害者福祉、園芸療法、花壇運営などの実績が多数あります。

#### ●株式会社しらすやまと

- ・平成 31 年に設立し、資本金 1 百万円、年間売り上げ 3 百万円、写真や映像のプロデュースや小倉北区にてコーヒーショップ運営の実績があり、業務提携 2 名、アルバイト 4 名で対応しています。
- ・中津市歴史博物館プロモーション・共同運営に参画し、現在でも館内ミュージアムショップにて企画商品の販売を行っています。

### (3) 実績や経験など

#### ●株式会社九州造園

- ・国、県、市、公団、学校からの緑化工事や公園・街路樹の維持管理業務の実績と経験が多数あります。
- ・山田緑地・ほたる館の指定管理業務を平成 26 年から行い、10 年以上の実績と 77 点の評価です。
- ・小倉城や勝山公園指定管理に令和 4 年から参加し、小倉城の和 5 年度の来館者が 25 万人を達成しました。

#### ●NPO法人グリーンワーク

- ・山田緑地・ほたる館の指定管理業務を平成 26 年から参加し、講座やイベントの実績があります。

#### ●株式会社しらすやまと

- ・中津市歴史博物館プロモーション・共同運営に参加し、プロモーションの実績や SNS の活用実績があります。

## 2 管理運営計画の適確性

### 【有効性】に関する取組み

#### (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

水辺環境の拠点施設として、展示施設の充実と生き物の情報発信を進めていきます。

##### 〈指定管理の取組み〉

##### 【指定管理の方針】

##### (1) ホタルの生息環境が学べる拠点づくり

- ① 光るヘイケボタルの昼夜逆転の展示や卵、幼虫を観察できる展示を実施します。
- ② 山田緑地やホタルの愛護団体等と連携した保全の拠点づくりを行います。

##### (2) 水辺の生き物に出会える環境学習の拠点づくり

- ① 水辺に生息する昆虫、爬虫類、両生類、魚類などの 60 種の展示を行います。
- ② 地域や小学校と連携してホタルや水辺の生き物に関する環境学習を実施します。

##### (3) ホタルや水辺環境を通じた環境交流の拠点づくり

- ① 来館者に寄り添う環境学習の拠点づくりを行います。
- ② ホタルを通じた地域と連携する交流の拠点づくりを行います。

##### 【バックアップの方針】

##### (1) 山田緑地や関連団体との連携

- ① 山田緑地との広報の施設利用や広報の連携を行います。
- ② 出張展示や出前講座によるホタル関連団体との連携を行います。

##### (2) 収益性及び情報発信の向上による管理運営の増強します。

- ① グッズの販売等の促進による収益性の向上を図ります。
- ② SNS を活用した生き物情報の発信と利用者の拡充を行います。

## (2) 利用者の満足度

### ●入館者等の目標

入館者の目標を各年度とも 10,000 人とします。

出張展示を含めての目標を令和 7 年度に 16,000 人から令和 11 年度に 18,000 人とします。

### ●利用者の満足度の目標

ユーザーアンケート満足度を令和 7 年度に 91%から令和 11 年度に 95%とします。

### ●来館者が身近な情報と触れ合うことのできる親しみある環境学習施設を提供します。

- ① 来館者の目線で応える接客を実施します。
- ② パンフレットやホームページの充実を図ります。
- ③ アンケート調査の実施と改善案の策定を実施します。
- ④ 「ほたる館だより」を年に 12 回発行します。
- ⑤ エサやり体験やふれあい体験など利用者参加型の展示を行います。

## 【効率性】に関する取組み

### (1) 指定管理料及び収入

#### ●以下の目標による管理運営を実行します。自主事業の収益の全額を管理運営費に充当します。

#### 【目標(数値目標)】

単位：千円

項目	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度
管理運営費	14, 231	14, 238	14, 254	14, 271	14, 290
自主事業充当	31	38	54	71	90
指定管理料	14, 200	14, 200	14, 200	14, 200	14, 200

### (2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

#### ●経費低減、収入増加に向けた創意工夫を行ないます。

- ①管理履歴に基づく効果的・効率的な維持管理を行います。
- ②緊急性・優先度を考慮した経費の効果的・効率的な執行を行います。
- ③ エネルギー削減を実施します。

## 【適正性】に関する取組み

### (1) 管理運営体制など

#### ●管理運営体制

全体として、館長含め経験豊かな 2 名以上とし、必ず連絡調整や専門的な知識や技術を有する職員を最低 1 名を配置します。スタッフには業務に必要な基本的技術や専門的技術を深める様々な教育を行います。スタッフの教育は基本的なものは日常業務を通じて行い、専門的なものは外部研修等を行います。

また、近隣の市民センターや小学校、自治連合会などと連携し展示や飼育作業、イベントなどを行って行きます。

## (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

### ●平等利用

私達は、正当な理由がない限り、利用を拒まず、特定の個人や団体を優先することのないようにすることを徹底し、子どもから成人、高齢者、障害者がそれぞれの目的で施設が利用できるよう管理運営を行なっています。

- ①来館者への丁寧な対応を行ないます。
- ②偏りない配慮で対応します。
- ③検証と研修を行ないます。

### ●安全対策

- ①施設利用者に対する安全対策として危険箇所の表示を行ないます。
- ②イベントや事業において知り得る利用者の個人情報適切で安全な管理を行います。
- ③館内の安全点検や施設の防犯、防災対策を徹底します。
- ④避難訓練や消火器の実射訓練など緊急時の対応に備えた訓練を実施していきます。

### ●危機管理体制

事故や災害の場合には速やかに情報を収集し、対処できる体制づくりを行います。  
対策本部は管理委員会として(株)九州造園本社に置きます。

## (3) 社会貢献・地域貢献

### ●社会貢献

- ・清掃や警備な草刈りについては60歳以上の高齢者や障害者の臨時雇用を推進します。
- ・SDGs「質の高い教育を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」の目標に向けて、講座や環境学習に取り組めます。

### ●地域貢献

- ・ほたる館は、北九州ほたるの会をはじめ市内のほたるの愛護団体や河川の愛護団体との連携を重点に行っており、出前講演や出前講座、ほたるの飼育指導などを積極的に進めます。
- ・幼稚園や小学校、まちづくり協議会などの環境学習の要望に応じて学習プログラムが行える取り組みを拡充していきます。

### 提案額 管理運営費 (千円)

- ・自主事業の収益の全額を管理運営費に充当することとし、増加分は、人件費や光熱費の増加分に充当します。指定管理料(内数)は各年度とも14,200千円とします。

7年度	14,231千円
8年度	14,238千円
9年度	14,254千円
10年度	14,271千円
11年度	14,290千円

